

第165回柏崎しんきん地区内経済指標

(平成21年12月)

柏崎信用金庫

1. 人口・世帯数動向

【単位：人、世帯、％】

地区別	人口			世帯		
	人数	前年同月比	前月比	世帯数	前年同月比	前月比
中心部	9,751	-1.09	0.09	4,055	0.32	0.14
東部地区	14,413	0.43	-0.15	5,652	0.53	-0.14
西部地区	10,772	-0.81	-0.13	4,006	-0.19	-0.09
駅南地区	6,344	-1.13	-0.03	2,669	-0.52	-0.03
半田地区	3,627	0.33	0.30	1,357	1.42	0.36
横山地区	5,710	0.51	-0.12	1,880	1.78	0.00
茨目・田尻地区	7,002	0.61	0.15	2,341	0.90	0.42
荒浜地区	5,117	-1.23	-0.09	2,000	-0.39	0.00
その他地区	20,935	-1.43	-0.20	7,169	0.02	-0.19
西山町地区	6,304	-1.63	0.01	2,128	-0.74	0.04
高柳町地区	1,953	-1.71	-0.61	849	0.95	-0.23
柏崎市計	91,928	-0.68	-0.08	34,106	0.23	-0.02
刈羽村	4,914	-0.60	-0.10	1,548	0.51	0.00
小国地区（長岡市）	6,419	-1.54	-0.29	2,148	-0.46	-0.04
出雲崎町	5,205	-1.77	-0.07	1,812	-0.82	-0.05
合計	108,466	-0.78	-0.09	39,614	0.15	-0.02

（資料出所：柏崎市、各市町村）

地域全体の人口動向は、前年同月比では引き続きすべての市町村・地区で減少しており、柏崎市で631人、0.68％、刈羽村で30人、0.60％、小国地区（長岡市）で101人、1.54％、出雲崎町で94人、1.77％と減少し、全体では856人、0.78％の減少となった。

また、前月比においても、柏崎市で75人、0.08％、刈羽村で5人、0.10％、小国地区で19人、0.29％、出雲崎町で4人、0.07％と減少したことから、全体では103人、0.09％の減少となっている。

一方、世帯数は、前年同月比では小国地区で10世帯、0.46％、出雲崎町で15世帯、0.82％と減少したものの、柏崎市で80世帯、0.23％、刈羽村で8世帯、0.51％と増加した結果、全体では63世帯、0.15％の増加となった。

また、前月比においては、柏崎市で7世帯、0.02％、小国地区で1世帯、0.04％、出雲崎町で1世帯、0.05％と減少したことから、全体では9世帯、0.02％と減少している。

2. 労働需給状況

【単位：人、倍、％】

	柏崎職安	新潟県	前年同月比		前月比	
			柏崎	県	柏崎	県
月間有効求人	489		-46.55		-17.25	
月間有効求職者	1,576		36.80		-8.31	
月間有効求人倍率	0.31	0.35	-0.48*	-0.25*	-0.03*	-0.02*

*印は差し引き計算

（資料出所：柏崎公共職業安定所）

景気の同時指標である柏崎職業安定所管内の労働需給状況は、有効求人・求職状況（パートを除く常用）では、月間有効求人数が489人と前年同月比で426人、46.55％の大幅な減少、前月比でも102人、17.25％と減少している。

一方、月間有効求職者数は1,576人と前年同月比で424人、36.80％の大幅な増加となったものの、前月比では143人、8.31％と減少している。

以上の結果、月間有効求人倍率は0.31倍と前年同月比では0.48ポイントと大幅に下回り、前月比でも0.03ポイント下回っている。なお、県平均0.35倍と比べて0.04ポイント下回っている。

また、新規求人・求職状況（パートを除く常用）については、月間新規求人数が162人と前年同月比で168人、50.91％の大幅な減少、一方、月間新規求職者数が287人と前年同月比で118人、29.13％と減少した結果、月間新規求人倍率は0.56倍となり、前年同月の0.81倍に比べて0.25ポイントと下回っている。

3. 建築確認申請

【単位：件】

	当 月 の 申 請			平成21年12月の年度累計	
	件 数	前年同月比	前 月 比	件 数	前年同月比
一 般 住 宅（併用）	22	-24	6	328	-420
共 同 住 宅	1	0	1	9	4
事 務 所	1	0	0	8	0
作 業 所・工 場	0	-1	0	2	-15
営 業 建 物	2	2	1	20	-6
公 共 建 物	0	0	0	2	1
そ の 他	8	-1	4	83	-19
合 計	34	-24	12	452	-455

（資料出所： 柏崎市建築住宅課）

建築確認申請の状況は、当月の申請合計が34件と前年同月比で24件の大幅な減少となったものの、前月比では12件の増加となっている。工種別における主な増減については、一般住宅（併用）が前年同月比で24件と減少したが、前月比では6件の増加となった。

なお、工種全体の申請内容は、新築が22件、増築が10件、改築が2件となった。また、一般住宅（併用）22件における市内・市外施工業者別の確認申請の状況については、市内施工業者が17件（うち新築14件、増築3件）、市外施工業者が5件（うち新築3件、増築1件、改築1件）となっている。

4. 電力使用量

【単位：口、kwh、%】

	契 約 口 数			使 用 量		
	口 数	前年同月比	前 月 比	使 用 量	前年同月比	前 月 比
電 灯	65,095	-1.21	0.01	22,286	-0.62	21.90
電 力	11,214	-2.95	1.20	38,506	-3.86	5.26

（資料出所： 東北電力(株)柏崎営業所）

〔 電灯は、家庭・道路照明・一般器機等に100Vの電源。
電力は、工場・スーパー・モーター動力等主に200Vの電源。 〕

契約口数は、電灯が前年同月比で799口、1.21%と減少したものの、前月比では7口、0.01%と増加している。一方、電力においても前年同月比で342口、2.95%と減少したが、前月比では134口、1.20%の増加となっている。

使用量は、電灯が前年同月比で140kwh、0.62%の減少となったものの、前月比では4,005kwh、21.90%と大幅に増加している。一方、電力においても、前年同月比で1,549kwh、3.86%の減少となったが、前月比では1,927kwh、5.26%と増加している。

5. ガス供給量・水道給水量

【単位：m³、%】

	ガ ス 供 給 量			水 道 給 水 量		
	供 給 量	前年同月比	前 月 比	給 水 量	前年同月比	前 月 比
家 庭 用	1,317,658	-6.98	24.86	671,355	-0.09	-5.62
営 業 用	241,992	0.16	36.29	114,690	-3.09	-6.36
工 場 用	647,385	0.71	12.89	155,005	23.89	10.35
官 公 学 校 用	520,785	6.67	53.13	73,302	-3.93	-2.63
そ の 他				44	7.31	-82.04
合 計	2,727,820	-2.20	27.08	1,014,396	2.27	-3.38

（資料出所： 柏崎市ガス水道局）

柏崎地域でのガス供給量は、用途合計では前年同月比で61,395m³、2.20%の減少となったものの、前月比では581,421m³、27.08%と大幅に増加している。用途別内訳を見ると、前年同月比では家庭用で減少、前月比ではすべての用途で大幅に増加している。

一方、水道給水量においては、前年同月比で22,584m³、2.27%の増加となったが、前月比では35,488m³、3.38%の減少となっている。用途別内訳を見ると、前年同月比では工場用で大幅に増加、前月比では工場用を除くすべての用途で減少している。

6. 北陸自動車道利用状況

【単位：台、％】

	入 口			出 口		
	台 数	前年同月比	前 月 比	台 数	前年同月比	前 月 比
柏 崎	81,122	-6.27	-6.80	84,412	-6.50	-6.95
西 山	40,709	-25.87	-12.23	36,344	-28.53	-11.40
米 山	16,706	-25.34	-18.47	16,129	-26.40	-17.27
合 計	138,537	-15.44	-9.99	136,885	-16.05	-9.49

(資料出所：柏崎市産業振興部観光交流課)

柏崎地域の物流指標となる高速道路出入口の交通量は、入口が全体では、前年同月比で25,314台、15.44%の大幅な減少、前月比でも15,382台、9.99%と減少している。

一方、出口においても、全体では前年同月比で26,171台、16.05%の大幅な減少、前月比でも14,354台、9.49%の減少となっている。

インター別で見ると、前年同月比、前月比ともにすべてのインターの入口・出口において大幅に減少しており、特に西山インター、米山インターではいずれも二桁台の減少率を示している。

7. 市内民間金融機関預金・貸出金残高

【単位：百万円、％】

	預 金			貸 出 金		
	残 高	前年同月比	前 月 比	残 高	前年同月比	前 月 比
末 残	363,495	3.07	2.46	152,546	0.78	1.17
平 残	357,080	2.51	0.45	149,807	1.16	1.16

預金は、末残が前年同月比で10,845百万円、3.07%の増加、前月比でも8,749百万円、2.46%と増加している。また、平残は前年同月比で8,765百万円、2.51%の増加、前月比でも1,611百万円、0.45%と増加している。

一方、貸出金は、末残が前年同月比で1,181百万円、0.78%の増加、前月比でも1,773百万円、1.17%と増加している。また、平残においても前年同月比で1,722百万円、1.16%の増加、前月比でも1,724百万円、1.16%の増加となっている。

8. 市内手形交換高

【単位：枚、百万円、％】

	枚数/金額	前年同月比	前 月 比
交 換 枚 数	31,530	472.64	-7.63
交 換 金 額	17,241	221.41	-29.11
不 渡 り 手 形 枚 数	16	166.66	-57.89
不 渡 り 手 形 金 額	21	2,127.20	-52.19

(資料出所：長岡手形交換所)

柏崎手形交換所は、平成21年3月31日に廃止となり、新たに平成21年4月1日から長岡手形交換所に統合されたため、平成21年4月分から長岡手形交換所による計数となっています。なお、前年同月比については、平成22年3月分までは柏崎手形交換所との比較になります。

長岡手形交換所における手形交換高は、交換枚数が前年同月比で26,024枚、472.64%の増加となったものの、前月比では2,607枚、7.63%と減少している。また、交換金額は、前年同月比で11,877百万円、221.41%の増加となったが、前月比では7,082百万円、29.11%の減少となっている。なお、不渡手形は16枚、21百万円発生している。

法的整理（負債1,000万円以上）による県内企業倒産4件（前年同月8件、前月9件）、負債総額12億円（同40億円、同33億円）となっている。地区別では、下越地区で3件（新潟市3件）、上越地区で1件（上越市1件）発生し、中越地区では発生していない。業種別は、建設業2件、製造業1件、その他1件となっており、倒産原因については、発生した4件すべてが販売不振となっている。

当月の企業倒産は4件、負債総額で12億円と、前年同月比では4件の減少、負債総額でも28億円の減少となっている。なお、負債総額10億円以上の大型倒産は発生していない。

県内経済は、底入れの動きがみられるものの、厳しい状況が続いている。企業は、企業収益及び景況感は下げ止まり傾向となっており、個人消費については一部に明るさがみられるものの、弱い動きが続いている。また、雇用面も引き続き厳しい状況となっている。